

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもと健康（保健）（以上児） （実務家教員担当科目）		科目コード	20Y330	担当者	光武 きよみ			
対象学生	幼児教育学科 1年生	学期区分	後期		単位数	1	担当形態	単独			
		授業区分	講義								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	必修				
領域及び保育内容の指導法に関する科目		領域に関する専門的事項（健康）				免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活などの知識を学習する。						1. 「 反心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	乳幼児期の健康の定義と意義、課題について説明できる。										
2.	幼稚園指導要領の領域「健康」について説明できる。										
3.	乳幼児期の発達の特徴を理解し、基本的な生活習慣の流れが説明できる。										
4.	乳幼児期の安全教育・健康管理の考え方を理解し、その方法を説明できる。						◎	◎	◎	○	
5.	乳幼児期の日常生活における身体活動の在り方を説明できる。					成績評価の方法と割合					
授業方法						受講態度（15%） 提出物（15%） 定期試験（70%）					
資料のプリントを準備し、パワーポイントを進めながら、講義形式で行う。場合によっては、DVDの使用やグループワーク等もある。											
課題等への対応						授業外学修時間					
レポート類は添削して各個人へ返却する						週30分程度の予習復習が必要					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	以上児オリエンテーション、保育所保育指針、幼稚園指導要領の説明、発達と基本的な生活習慣の流れ					発達と基本的な生活習慣の復習と以上児に多いケガや病気について予習する					
第2回	以上児に多いケガと病気の特徴					以上児に多いケガや病気について復習を行い、感染症についてまとめる					
第3回	感染症と予防対策（感染予防に向けたグループワーク）					感染症予防について復習を行い、血液を介する感染症の種類をまとめる					
第4回	感染症と予防対策（血液を介して感染する感染症の予防）					感染症予防の具体的な内容の復習を行い、安全な環境づくりの予習をする					
第5回	事故防止・健康安全管理（以上児への環境づくり、安全確認方法）					安全確認方法の復習を行い、園における危機管理についての予習をする					
第6回	事故防止・健康安全管理（危機管理と組織的取り組み）					危機管理の復習を行い、健康教育について発表内容の検討を行う					
第7回	健康、衛生、安全教育（以上児への健康教育：グループワークと準備）					健康教育の発表準備を行う					
第8回	健康、衛生、安全教育（以上児への健康教育：発表）とまとめ					各健康教育内容の復習を行う					
試験	定期試験を実施する										
教科書	子どもの保健～健康と安全～ 日本小児医事出版社				受講生へのメッセージ	子どもの疾患や対処法などをしっかりと学んでいきましょう					
参考書等	感染症防止ガイドライン、アレルギー対応ガイドライン、事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン、子どもの保健Ⅱ、保育所保育指針、幼稚園指導要領等を参考に資料作成。				実務経験に関する情報	①経験内容	看護師、保健師さらに養護教諭としての経験あり。				
						②科目との関連	健康や疾患、健康教育、事故防止等の教授が可能である。				